

# 2022 年度事業報告

<b>1. 会員情報の管理、会員ネットワーク構築推進に関する事業</b>
会員情報の管理と更新を随時行った。会員管理に関する同窓会事務局の体制を維持した。 クラス委員連絡会は、新型コロナウイルス感染症拡大のため対面開催中止。クラス委員に発信する内容・方法を検討した。クラス委員に通知。ホームページにて報告を行った。
<b>2. 会報の発行等情報発信事業</b>
12 月、同窓会だより第 142 号(特集：ICT を活用した看護の可能性と未来)を発行した。 同窓会ホームページの管理・運営を行い、情報を随時更新して最新情報を掲載した。同窓会及び各支部の報告、会員向けに就職情報などの発信を行った。支部総会、講演会の動画配信も行った。 白楊祭は完全予約制の対面方式での開催となった。同窓会ブースの出展は行えなかった。 看護教育 100 周年事業の「聖路加の看護 100 のエピソード」の受注対応をした。 同窓会だよりを全学生に送付。卒業・修了生には同窓会紹介パンフレット配布、メール配信も行った。
<b>3. 聖路加国際大学の諸事業への協力・後援に関する事業</b>
学生への支援を行った。①新入生 (130 名) 全員にユニフォーム贈呈 ②奨学金給付 2 名に各 20 万円 ③学部卒業生 124 名・公衆衛生大学院修了生 39 名には袱紗、看護学研究科修士・博士修了生 65 名には印鑑を贈呈した。 卒業生へのキャリア支援としてホームカミングディを後援、ホームページに特設サイトを設けた。 聖路加 NEWS 同窓生送付への協力。
<b>4. 会員の教養、専門的知識・技術向上のための啓発事業</b>
講演会は新型コロナウイルス感染症拡大のためオンデマンド配信とした。 聖路加国際大学や聖路加国際病院が主催する講演会等は、ホームページにて、随時情報を発信した。
<b>5. 同窓会支部および地域支援に関する事業</b>
秋田県支部：同窓会事務局からの情報を支部会員に伝達。埼玉県支部：10 月総会及びシンポジウムをハイブリッド開催。神奈川県支部：10 月総会と講演会をオンラインで開催。Zoom による懇親会の開催。新潟支部：11 月大学のホームカミングディ企画を対面とオンラインで視聴。宮城支部：9 月講演会実施。講演会後総会をオンラインで行った。関西支部：新型コロナウイルス感染症拡大のため活動中止。 九州支部：10 月支部長交代が書面にて承認された。 各支部在住者への書類の印刷・送付を行った。支部活動費を支援した。
<b>6. その他必要な事業</b>
就職情報提供活動を行った。8 件の求人情報提供：①HP (会員専用ページ) に掲載 ②求職者にメール配信 ③同窓会室前に掲示。 会員の福祉・慶弔に関することを実施。訃報に関する連絡や弔意の送付：お花料 11 名 2022 年度聖路加同窓会定期総会は新型コロナウイルス感染症拡大のため書面開催。講演会はオンデマンド配信での開催。会員数 5,149 名、委任状提出 862 名により、審議事項は役員会で承認され、HP と同窓会だよりに掲載した。 2023 年度総会の開催方法を検討した。 月 1 度各事業の収支を確認、適切な予算運営がなされているかを細やかに把握した。 年会費納入率向上への取り組みとして、コンビニ振込み導入の持続。また卒業・修了後 10 年間未納入者へ納入依頼を送付、2022 年度卒業・修了生に 10 年間一括納入を依頼した。在校生の同窓会費代理徴収について大学と検討した。 定例役員会 (4 月、5 月、6 月、7 月、9 月、10 月、11 月、2023 年 1 月、3 月) の開催と運営を行った。Zoom を活用し密集を避けた。 同窓会活動管理を行った。(活動記録、役員一覧の更新を含む) 同窓会事務局の体制を維持し、各活動について積極的なサポートを行った。 看護教育 100 周年記念事業 大学への寄付 ¥15,000,000 学生による手技の自己評価や OSCE 評価に記録動画を用いることができるよう、動画撮影と映像再生視聴ができる仕様にアールームを改修する計画を進めています。